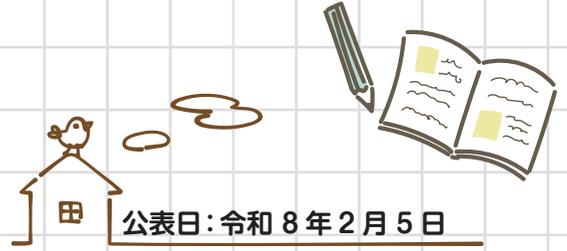


令和7年度

COMPASS. 松茂 wing 事業所における自己評価総括表(公表)



公表日: 令和8年2月5日

○事業所名	COMPASS.松茂wing			
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日		～	令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日		～	令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年9月10日		～	令和7年10月11日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4	(回答数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月15日			

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援の充実) COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有をおこなうことで、適切なアドバイスを受けることができます。	COMPASSでは保育所等訪問支援の意識を高めるため、専門性のある職員の知識と経験を活かし、事例やアプローチなど社内にて定期的な勉強会を実施しています。	引き続き事業所間のつながりを大切にし、勉強会や情報の共有・交換などをおこない、職員の更なるスキルアップを目指してまいります。
2	各種資格を要する職員が在籍しており、それぞれの専門性を活かしながら療育をおこなっております。	積極的に専門職員と意見を交換しながら、支援計画を作成し、全職員に周知し、話し合いをおこない、個別支援計画に沿った療育をおこなっております。	専門職員と全体で話し合い、その都度プログラムを見直すとともに、保護者様の意見も取り入れながら一人ひとりの特性に合わせた支援に努めてまいります。
3	児童が普段集団生活を送る(保育所/幼稚園/学校)等の施設と事業所が密に連携し、児童の苦手な部分に合わせたサポートをさせていただいております。	保護者のご意向を丁寧にうかがいながら支援を進めることを意識しております。 また、訪問先との状況共有を密におこない、児童の様子や課題を共有することで、支援内容の一貫性を保つよう工夫しております。	訪問後には、保護者にフィードバックをおこない、訪問先や家庭での支援や、今後の療育計画に活かせるよう努めてまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先との情報共有の仕組みが整っていない。	訪問時間や回数に限りがあり、支援員が訪問先とそこで情報共有をおこなう時間の確保が難しいと考えられます。	訪問先の意見や気づきを積極的に共有し、双方のコミュニケーションを意識し、相談しやすい存在になれるよう努めてまいります。
2	訪問支援員が毎回同じでないため、支援の一貫性や継続的な関わりが保ちにくい。	事業所に在籍する訪問支援員の人数が限られており、担当の固定が難しいと考えられます。	担当制の導入を検討したり、訪問スケジュールの共有化をおこない、チーム内での支援方針が統一できるよう取り組んでまいります。
3			

